京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts
@KCUA

京芸

transmit program 2018

Sae Fujita, Sayoko Kobayashi, Yohei Kumano, Momoko Yoshida

熊野陽平　小林紗世子　藤田紗衣　吉田桃子

ピックアップ！　チェックしておくべき
京都の次世代アーティスト2018

2018.4.7 sat. – 5.20 sun.

京都市立芸術大学ギャラリー　@KCUA

11:00－19:00（月曜休館 *ただし4月30日（月・振休）は開館、5月1日（火）は休館）
入場無料
主催：京都市立芸術大学
企画：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

京芸　トランスミット・プログラム 2018

京芸

京芸 トランスミット・プログラム 2018

transmit program 2018

ARTISTS: 熊野陽平　小林紗世子　藤田紗衣　吉田桃子

Sae Fujita, Sayoko Kobayashi, Yohei Kumano, Momoko Yoshida

2018.4.7 sat. – 5.20 sun. 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA 11:00–19:00（月曜休館 *ただし4月30日（月・振休）は開館、5月1日（火）は休館）入場無料

「京芸 transmit program」は京都市立芸術大学卒業・大学院修了3年以内の若手作家の中から、いま、@KCUAが一番注目するアーティストを紹介するプロジェクトです。アーティストの活動場所として日本でも1、2を争う都市京都における、期待の新星を紹介するシリーズとして、毎年春の開催を予定しています。

第2弾となる本年は、熊野陽平（構想設計）、小林紗世子（日本画）、藤田紗衣（版画）、吉田桃子（油画）の4名を選出しました。

熊野陽平は身近な出来事を題材に考案したゲームやインスタレーションを通して、既存のルールや統一された規格への違和感や、その境界線の曖昧さについて考察する作品を手がけています。本展では「1/1スケール模型としての美術展示」というテーマに基づく、「参加者」との対話をもそのプロセスに含む作品（*）を発表します。小林紗世子は日本画の画材である岩絵具と麻紙という素材の関係性と、それら自体の持つ力を保持しつつ「絵画」として成立させることを追求してきました。画面に現れた柔らかな色彩の奥には、要素を削ぎ落とすことで一回性を高めつつ、完成された絵画としての描かれた図像と残された麻紙の地との均衡を探る鋭い眼差しが潜んでいます。藤田紗衣は、眼に映るものを違った形で再認識するための手段として版画の手法を用いて制作を続けています。ドローイングを拡大して版に落とし込み、その場で観ていたものとは別の形で融合させるなど、「版」が可能にする解体と再構築を様々な形で試みます。吉田桃子は、音楽を聴いているときの高揚感や、頭に浮かぶイメージを元にマケット（立体的スケッチ）を製作し、それらを動かした映像を木枠に張られていないキャンバスに描き出しています。図像の外へと垂れていく絵具は、それが絵であるということだけでなく、下地であるキャンバスの布としての存在感をも強調するかのようでもあります。

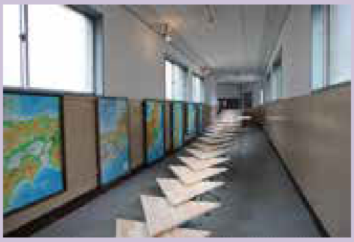
時代を読み取ろうとする鋭敏な感性を持って、それぞれが選び出した表現の方法に真摯に向かい合う若き作家たちの試行と実践にご注目ください。

(*) 熊野陽平 ワークショップ「1/1スケール模型としての美術展示」の募集について

テーマ「1/1スケール模型としての美術展示」に基づいた〈物〉を提出していただき、応募締切後に提出物を会場に展示します。

参加者meetingの開催：会期中、会場にてワークショップ参加者による「meeting」を行います。それぞれ「1/1スケール模型としての美術展示」というテーマへのアプローチを発表し、意見交換を行います。

※募集期間・応募方法など詳細は京都市立芸術大学ギャラリー @KCUAウェブサイトにてご確認ください。



熊野陽平

1986　京都府生まれ
2016　京都市立芸術大学大学院
美術研究科修士課程絵画専攻構想設計 修了

主な展覧会

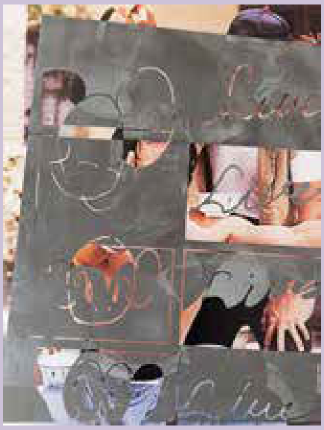
2016　1floor2016「何かの奇遇」
（神戸アートビレッジセンター／兵庫）
「みんな みにいく み・な・み・く エキシビション」
（ヒスロム作業場／京都）
「Open Diagram」（元崇仁小学校／京都）
2015　個展「廻り込める運命」
（京都市立芸術大学小ギャラリー／京都）
2014　個展「仮説的に、修復する 美術」
（ASAIR ／京都）

小林紗世子

1989　埼玉県生まれ
2012　京都市立芸術大学美術学部日本画専攻 卒業
2014　京都市立芸術大学大学院美術研究科
修士課程絵画専攻日本画 修了
パリ国立美術高等学校（短期交換留学）
2017　京都市立芸術大学大学院美術研究科
博士（後期）課程日本画領域 修了
神戸芸術工科大学アート・クラフト学科 実習助手

主な展覧会

2017　青春画廊西陣オープン記念展
「open house」（青春画廊 – contemporary art house Nishijin –／京都）
神戸芸術工科大学アート・クラフト学科企画展
（神戸芸術工科大学ギャラリー・セレンディップ／兵庫）
第4回 続（しょく）「京都 日本画新展」
（美術館「えき」KYOTO ／京都）
2016　碧い石見の芸術祭2016「第1回石本正日本画大賞展」（三隅中央会館／島根）
2014　第1回 続（しょく）「京都 日本画新展」
（美術館「えき」KYOTO ／京都）
2013　Cumin Project「Little Melodies」展
（ホテルアンテルーム京都 GALLERY9.5 ／京都）



藤田紗衣

1992　京都府生まれ
2015　京都市立芸術大学美術学部版画専攻 卒業
ロイヤル・カレッジ・オブ・アート
（短期交換留学）
2017　京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程
絵画専攻版画 修了

主な展覧会

2017　still moving 2017「フローとストック」
（元崇仁小学校／京都）
2016　「Multiply: それぞれの地点より燐光する視点」
（京都精華大学ギャラリーフロール／京都）
個展「Pinch In, Pinch Out」
（gallery make ／京都）
「通りぬけフープ」（京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA ／京都）
「still moving – on the terrace」
（京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA ／京都）
展覧会プログラム "架設 2015" 第二期
「齟齬の検証」（京都精華大学／京都）
2015　「PORTO DI STAMPA」
（アートゾーン神楽岡／京都、B-gallery ／東京）
ART OSAKA 2015「ARTで目覚める vol. 3」
（ホテルグランヴィア大阪／大阪）
「Thinking Print vol. 4」
（京都嵯峨芸術大学／京都）

吉田桃子

1989　兵庫県生まれ
2016　京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程
絵画専攻油画 修了

主な展覧会

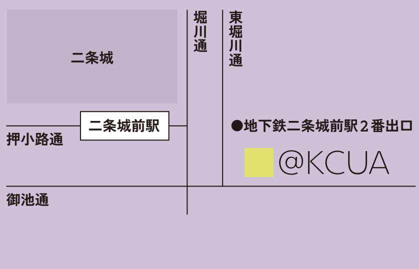
2017　個展「scene UKH ver. 3.1」
（京都造形芸術大学ARTZONE ／京都）
個展「scene UKH ver. 3」
（三菱一号館美術館歴史資料室／東京）
個展「scene UKH ver. 2」（波さがしてっから／京都）
2016　アートアワードトーキョー丸の内2016
（丸ビル マルキューブ／東京）
個展「scene UKH」（galerie 16 ／京都）
「ウッホッホウホウホアートショー」
（波さがしてっから／京都）
2015　神戸美術研究所アトリエKAI OB展「櫂の会」
（兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー／兵庫）
「作品中！ 2015」（galerie 16 ／京都）

関連イベント

ギャラリートーク：2018年4月7日（土）14–15時半
オープニングレセプション：2018年4月7日（土）16時

主催：京都市立芸術大学
企画：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

http://gallery.kcua.ac.jp

会場アクセス：
〒604-0052
京都市中京区押油小路町238-1
Tel: 075-253-1509

地下鉄：「二条城前」駅（2番出口）
南東へ徒歩約3分
バス：「堀川御池」バス停下車すぐ